

令和2年度の治山事業について

山腹工事（桐生市黒保根町）

本箇所は令和元年7月25日の集中豪雨により山崩れが発生し、大量の土砂が直下に位置する県道へと流出しました。

山腹斜面には多くの土砂が堆積しており、今後の豪雨により再度流出する恐れがあることから、山腹工を施工しました。

土留工の型枠に間伐材を使用し、木材の有効利用を図りました。



○法切工	100m ³	○丸太筋工	147.90m ³
○植生マット伏工	1209.80m ²	○コンクリート土留工	4基
○ロープネット工	1194.50m ²		

溪間工（渋川市赤城町）

本箇所は平成17年の豪雨により、山崩れや溪岸の浸食等が発生しました。

溪床には多くの土砂が堆積しており、今後の豪雨により下流域に被害が生じる恐れがあることから、治山ダムを施工しました。

治山ダムの型枠に間伐材を使用し、木材の有効利用を図りました。



○コンクリート谷止工			
L=26.52m	H=6.50m	V=393.40m ³	